

「ソーシャル・イノベーション・チャレンジ日本大会」

「ソーシャル・イノベーション・チャレンジ日本大会2019」では、審査員と会場の参加者を前に、書類選考を通過したファイナリストたちが、SDGs達成に役立つビジネスプランやアイデアをコンテスト形式でピッチします。日本大会の受賞者は、来年1月から行われるアクセラレーター・プログラムや2020年春にマレーシアで開催予定のYouth Co:Labアジア太平洋サミットに招待されます。ここから日本を代表する社会起業家が生まれるかもしれません。

19:00/
19:10

開会の挨拶

リー・ウェイト | シティグループ 日本代表

19:10/
20:45

「ソーシャル・イノベーション・チャレンジ日本大会2019」ファイナルピッチコンテスト

第一次選考を通過したチームが審査員及び参加者の前でビジネスプランやアイデアをピッチ。審査員による質疑応答。

ファイナリスト・プロジェクトタイトル:

- 定額制食料配達サービス「残り物を、あなたのご馳走に。」
- 国と国を繋ぎ和服を日常のファッションに
- 世界に広げたいコーヒーかすの二次利用方法
- 女性農家が中山間地域で持続可能な挑戦ができる未来を
- Bio Fishing Items
- カロリーカットが出来るお皿カロリカを使った脂質意識の啓発
- 交わらなかった人生をCo-Livingという形でつなぐ
- 日本初の無料給水アプリ「MyMizu」
- Live1st - あなたが頼れるコミュニティ医療人材

審査員:

鈴木敦子 | NPO 法人 ETIC.理事・事務局長

日高久美子 | WeWork Japan 副社長 広報・渉外統括

高槻大輔 | ソーシャル・インベスト・パートナーズ 代表理事

ジェームズ・マッカーティ | Zehitomo 共同設立者/COO

渡邊 有美子 | シティバンク、エヌ・エイ東京支店 公共法人営業本部 本部長

ベニガム・ゲブレジ | UNDPバンコク地域事務所 ユース・市民社会担当プログラム・スペシャリスト

20:45/
21:15

「ソーシャル・イノベーション・チャレンジ日本大会2019」交流会

※イベント参加者の方、ファイナリストの方など全員ご参加いただけます。

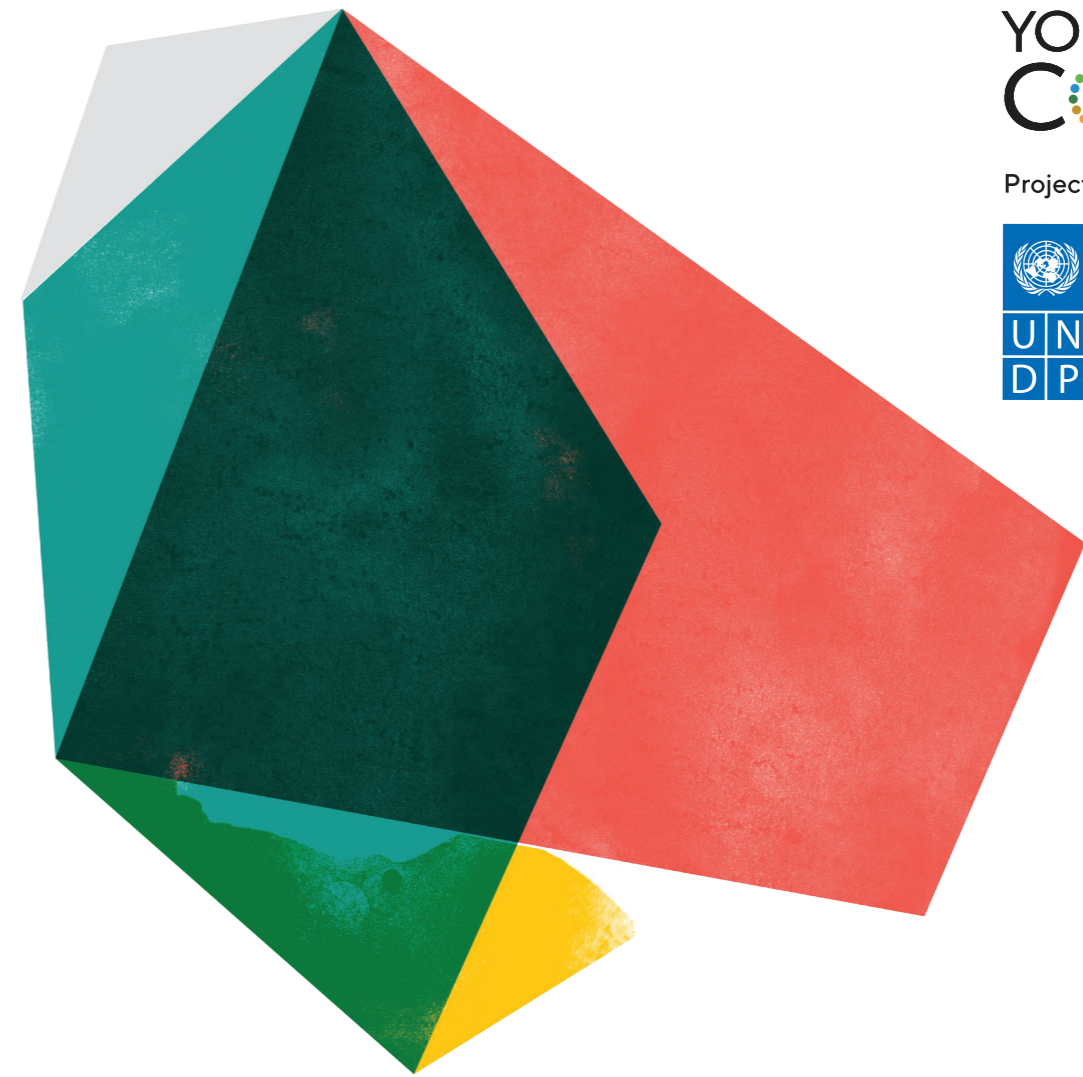
21:15/
21:25

「ソーシャル・イノベーション・チャレンジ日本大会2019」受賞者発表

21:25/
21:30

閉会の挨拶

ベニガム・ゲブレジ | UNDPバンコク地域事務所 ユース・市民社会担当プログラム・スペシャリスト

YOUTH
CO:LAB

Project Co-Leads



Citi Foundation



Youth Co:Lab Japan 2019

ソーシャル・イノベーション・チャレンジ 日本大会2019

日本初!
国連開発計画(UNDP)と
シティ・ファウンデーション
若者によるイノベーションと
社会的起業を支援する
「Youth Co:Lab Japan 2019」開催

日時 2019年11月22日(金)19:00~21:30 (開場 18:30)

場所 国連大学本部 2Fレセプションホール (渋谷区神宮前5-53-70)

共催 国連開発計画(UNDP)、シティ・ファウンデーション

協力 特定非営利活動法人エティック、WeWork Japan合同会社

参加登録はこちらから



bit.ly/YCL2019JapanRegistration

Youth Co:Labとは

2017年、UNDPとシティ・ファウンデーションが、若者によるイノベーションと起業を支援するため、アジア太平洋地域で立ち上げたプログラムで、現在、域内25の国と地域で展開されています。若手起業家エコシステムの醸成や社会的事業の立ち上げ・拡大支援などの活動を行っており、設立以来、25か国・地域において、2,500名の若手社会起業家を支援し、約500の社会的事業の設立支援や運営改善を行ってきました。



1 定額制食料配達サービス
「残り物を、あなたのご馳走に。」
代表者
OSOMATSU FOOD / 吉岡航希



世界の食品廃棄は年々増加しており、それに伴う地球温暖化への影響が危惧されています。食品事業者より、廃棄予定だが消費可能な食材を低価格でレシピ付き定期便として配送することで、顧客のニーズに応えます。



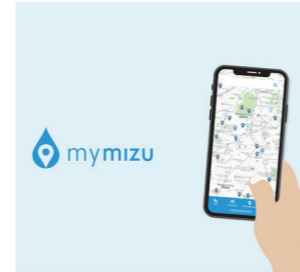
2 国と国を繋ぎ和服を日常のファッションに
代表者
佐藤真陽



特に東南アジアの伝統織物や素材を使用し、製造過程では女性の雇用、その子供達の教育環境の整備を積極的に行っており、和服を楽しみながら、着ることで世界を肌感覚で知れるユニセックスの和服を届けます。



3 MyMizu
代表者
MyMizu / ルイスロビン敬



ペットボトルの使用を削減することをミッションにした、日本初の無料給水アプリ。カフェや公共施設など給水できる場所を「MyMizuスポット」とし、外出中どこにいても、気軽に水の補給ができ、環境にも、お財布にも優しい。



4 世界に広げたいコーヒーかすの二次利用方法
代表者
青木望

(COFFEE BLOCK)

世界で毎日22億5000万杯とも言われる量が飲まれているコーヒー。そのコーヒーを淹れるたびに出てしまうコーヒーかすを二次利用することによって、廃棄量を大幅に削減できる可能性を持つプロジェクトです。



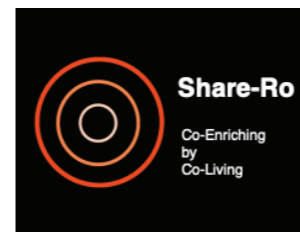
5 女性農家が中山間地域で持続可能な挑戦ができる未来を
代表者
雪の日舎 / 佐藤可奈子



中山間地域で農業に携わる女性が、自分らしく暮らしながら、持続可能な挑戦ができる仕組みをつくることで、過疎化・担い手不足の進む中山間地域農業・農村の課題を解決します。



6 交わらなかった人生をCo-Livingという形であつなぐ
代表者
Share-Ro / 三原尚人



Co-Livingを通じ、新たな交流・助け合いを生み出し暮らしにイノベーションを起こします。使われなくなった空き部屋を持つ家主の家を借主とシェアするモデルで、休止資産の活用を含む多様な社会課題を包括的に解決します。



7 Live1st
あなたが頼れるコミュニティ医療人材
代表者
Live 1st / 落合薫



Live1stは時間・金銭的理由で専門教育を受けられない地域の人材を雇用し、セミプロとして訓練し、彼らを医療介護を必要とする家庭に派遣するサービスを提供。医療人材と派遣先のマッチングも行い、医療人材不足解消を目指します。



8 Bio Fishing Items
代表者
安藤日向



近年、海洋プラスチックごみ問題は、国内外で喫緊の課題であると認識されています。この問題の解決を目指し、植物由来の繊維を混ぜた海で分解されるプラスチックを用いて、海中で短期間に分解されるような釣り具・漁具の開発をします。



9 カロリーカットが出来るお皿
カロリーカを使った脂質意識の啓発
代表者
Calorica / 北村渉



大切な人と、健康で長く過ごす。



カロリーカはお皿の中央部が高くなっていることで、料理から出た油が縁に流れるため、余分なカロリーがカットできるお皿です。ふちに溜まった油を視覚化することで、脂質に対する意識を変える「きっかけ」を作ります。



ソーシャル・イノベーション・チャレンジ日本大会2019への応募総数50組以上の中から、ファイナリスト9組が決定しました。この9組から「最優秀賞」「観客賞」「スケーラビリティ賞(汎用可能性賞)」「WeWork賞(コミュニティ賞)」が選ばれます。観客賞は、最終組のピッチ終了後、当日ご来場の皆様の投票で決定します。

日本大会の受賞者は、来年1月から行われるアクセラレーター・プログラムや2020年春にマレーシアで開催予定のYouth Co:Labアジア太平洋サミットに招待されます。

1. 定額制食料配達サービス「残り物を、あなたのご馳走に。」
2. 国と国を繋ぎ和服を日常のファッションに
3. 日本初の無料給水アプリ「MyMizu」
4. 世界に広げたいコーヒーかすの二次利用方法
5. 女性農家が中山間地域で持続可能な挑戦ができる未来を
6. 交わらなかった人生をCo-Livingという形であつなぐ
7. Live1st - あなたが頼れるコミュニティ医療人材
8. Bio Fishing Items
9. カロリーカットが出来るお皿カロリーカを使った脂質意識の啓発